



11月園だより

令和5年11月1日

目黒区立原町保育園園長

朝夕の気温がぐっと下がり、早朝は吐く息が白く見え、早くも冬の訪れを感じます。日中は活動しやすい季節で、全クラスとも公園での探索を楽しんでいます。先日は0歳児クラスが園の前にある公園へ初のお散歩に出かけました。落ち葉を拾ったり、保育士と“いないいないばあ〜”をしたり、広場を這い這いや歩いたりして探索を楽しんでいました。

先月19日には4.5歳児が川越市まで芋ほり遠足に出かけてきました。4歳児にとっては、友達と一緒に大きなバスに乗って遠足に行くのは初めての経験です。「先生、誰がピンポ〜ンって押すの?」「いつ押すの?」と質問され、最初は何を言っているのかわかりませんでした。どうやら路線バスをイメージしていたようで、かわいい発想に納得するとともに、保育士も笑顔になりました。遠足でバスに乗るといえば“観光バス”ですが、子どもたちにとってバスのイメージは、いつも乗り慣れている“路線バス”だったようです。大きな畑で土を掘ってお芋を見つけること、青空のもとみんなでお弁当を食べることなど何もかもが初めて尽くしの一日でした。最初はおそろおそろ、そっと土を撫でていました。「10本の指を使って、もぐらさんみたいに力いっぱい掘ってみよう」と見本を見せ、土をかき分けていくとお芋が顔を出しました。みんな、頑張ってたくさんのお芋を掘って「見て〜、こ〜んなにおっきいのとれたよ」と満面の笑みで手に持ったお芋を高く掲げて誇らしげでした。土の中からいろいろな虫たちも顔を出し、そのたびにびっくりしたり「なになに?」とみんなで頭をくっつけて見入っていました。楽しんで五感や体力を使いながらの貴重な体験は、これからの様々な活動への期待や意欲に繋がっていくことでしょう。



11月の予定

- ☼ 交通安全教室 5歳児クラス
- ☼ お楽しみ会(0, 1, 2歳児クラス)
- ☼ 歯科検診(全園児) 9:30~
- * 身体計測 * 避難訓練



楽しかった芋ほり遠足

秋晴れの中、わくわくした表情でバスに乗り元気に出発した子どもたち。バスの中ではクイズや歌で盛り上がり、長いトンネルに驚いたりしながら道中を楽しんでいるうちに農園に到着しました。広い畑を目の前にして、子どものやる気も増していきます。土をかき分け、力を入れて根気強く掘っていくと大きな芋が掘れて大喜びです。土の中から芋のつるが何本も見え始め「取れないよ。手伝って」という友達の声に「いいよ」と手伝いに行く姿もありました。力を合わせて掘りながら「このお芋何人家族なんだろうね?」と子どもたちの会話が聞こえてきます。何本も繋がって出てくると「あ、これお父さん」「これは小さいから赤ちゃんだね」と大きさを見比べる様子が微笑ましいです。

掘り終えた芋を入れた袋を両手で持ち上げ「重いー」と表情をしかめながらも「持って帰ったら〇〇組さんも食べるかな?」と話す様子からは沢山掘れた嬉しさが伝わってきます。「頑張って掘ったから、お腹すいちゃったよー」と話しながら収穫の後、皆で食べたお弁当は特別の味!子どもたちの笑顔が溢れる芋掘り遠足でした。



運動会を終えて

運動会を終えた幼児クラスの子どもの様子をお知らせします。



さくら組 (3歳児クラス) 『たのしかったー』

動物の真似をしながら体を動かすことを楽しみ、本番では探検隊になりきり動物を探しに行きました。退場した後子どもたちの表情を見ると、満面の笑みを浮かべていてドキドキしながらも頑張ったことが伝わってきました。運動会後も「どんどんいこう もりのなか♪」と誰かが口ずさむと、周りにはいる子も一緒に歌い出し、最後には「ドンドン ドンドン ジャンゴー♪」とみんなで早口で歌って踊り盛り上がっています。散歩先で、探検隊になり公園中を探索していると「あ！くもの巣！運動会の時にやったね(大縄くぐり)」と話す姿もあり、今でも余韻を楽しんでいます。はじめての運動会の取り組みの中で、はじめは誰かに見てもらうことにドキドキしていましたが、褒めてもらえることで嬉しさを感じ、運動会当日にたくさんの拍手をもらい自信へとつながっているさくら組です。



ぼぶら組 (4歳児クラス) 『がんばったよ』

できるようになった大縄跳びやフープ体操、かけっこをみんなに見てもらいたい、かっこいいところを見せたいと運動会に向けて取り込んでいました。当日は「ドキドキしたけど、たのしかった」「がんばったよ」と胸を張る姿が見られました。運動会が終わってからも散歩先で「かけっこ、またやりたい」「もっといっぱい、とおくまではしれるよ」「いちばんになりたい」と公園の広場で、かけっこの距離をのばして行い「もういっかいやりたい」「もっと、とおくまではしれるよ」と繰り返し行い、思い切り体を動かして楽しんでいました。「くすのきさんのリレーみたいなのがしたいな」と2チームに分かれてリレーごっこも行いました。たくさん走ったあとは「つかれたけど、たのしかった」「またやろうね」と運動会を経験して達成感や満足感を味わっているようです。寒くなる時期ですが、引き続き全身を動かして楽しく過ごしていきたいと思います。



くすのき組 (5歳児クラス) 『力をあわせてー！』

かっこいい姿を見せたい！と取り組んだ運動会でしたが、なわとびや大縄、竹うちと「できない！」「わからない・・・」とくじけそうになることが何回もありました。友達の姿をみたり、繰り返すうちにできることも増え、小さいクラスの子どもや保育士に「すごい！くすのきさん」とたくさん応援してもらって、少しずつ自信へとつながっていきました。運動会が終わった後、久しぶりにのんびりと庭で遊ぶ日が続きました。その中で、「縄跳びしようよ」と友達を誘い、運動会で披露した縄の競技を再現してみたり、本番にはできなかった後ろ跳びなどに挑戦する姿に、運動会が終わって終わりではなく、楽しんで取り組んでいたことを実感しました。また、運動会が終わり虫探しをしていた子どもたちが重いプランターを「力をあわせてー、それー！」と5、6人でタイミングを合わせて動かしていました。運動会を通して友達と力を合わせることで、チームのために全力を出してがんばることなどを経験したことを自信にして、これからの活動を意欲的に楽しんでいきたいと思っています。